

はじめに



「食」は、私たちが生きていくために欠かせない、生命・健康の源です。

しかし、社会・経済状況の変化に伴い、食生活を取り巻く環境も大きく変化し、私たちの食の大切さに対する意識は希薄になり、結果として朝食の欠食や栄養の偏りなどの食習慣の乱れ、肥満や生活習慣病の増加や過度の痩身志向などの問題が生じてきています。

こうした中で、様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる「食育」を推進することは、極めて重要となっています。特に、次代を担う子どもたちが、食育を通じて、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けることは、意義深いものがあります。

本県は、周囲を四季折々に美しい装いを見せる富士山・南アルプス連峰などの山々に抱かれ、その豊かな自然環境の中で、生産量日本一のぶどう・もも・すももを始めとする豊富な農林畜水産物を生産するとともに、「ほうとう」に代表される様々な郷土料理を産み出しています。

また、このような恵まれた生活環境の中で、健康寿命も日本一を誇っています。

こうした本県の特性を生かしながら、食の大切さの意識を深め、健全な食生活の実践と豊かな人間性を育てることを基本理念に、食育に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため、今般、「やまなし食育推進計画」を策定いたしました。

食育の推進には、家庭、学校、保育所、地域等社会の様々な分野の関係者が連携を図り、一体となって取り組むことが必要です。また、地産地消や農業・農村の担い手の育成等についても生産者、流通業、食品産業、消費者が実践し、一つひとつ着実に積み上げていく必要があります。

広く県民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、この「やまなし食育推進計画」に基づき、県民運動として食育を推進していきたいと考えています。

むすびに、「やまなし食育推進計画」の策定にあたり、貴重なご意見・ご提案をいただきました多くの県民の皆様と、「山梨県食育推進懇話会」委員各位に心から感謝申し上げます。

平成18年12月

山梨県知事 山本 栄彦